

おける癌関連線維芽細胞 (CAFs) の TGF- β シグナルの解明. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 新規.

- 2) 大倉直人, 柿原嘉人 (分担) 他: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 継続.
- 3) 加来 賢, 柿原嘉人 (分担) 他: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(B), 継続.
- 4) 柿原嘉人 (代表): 口腔扁平上皮癌における R2TP のターゲット解析と治療標的としての可能性の検討. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 継続.

包括歯科補綴学分野

【著 書】

- 1) 小野高裕: かむ力を高めると脳も体も若返る! 東京: マキノ出版 24-29.2022 May.
- 2) 小野高裕: 歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 高齢者編 第2版. 東京: 医歯薬出版 211-214. 2022 Jul.
- 3) 小野高裕: 疾患別嚥下障害. 東京: 医歯薬出版 228-229, 2022 Aug.
- 4) 堀 一浩, 小野 高裕, 谷村基樹. ウェアラブル咀嚼計「bitescan® (バイトスキャン)」の開発 ヘルスクエアに向けた生体情報センシング技術と製品開発最前線. 東京: NTS 2022 Dec.
- 5) 小野高裕, 堀 一浩: 咀嚼の本 3. 東京: 口腔保健協会 2022 Dec.

【論 文】

- 1) Ono T, Kato S, Kokubo Y, Hasegawa Y, Kosaka T, Maeda Y, Okamura T, Miyamoto Y, Ikebe K: Tooth loss related with prevalence of metabolic syndrome in a general urban Japanese population: the Suita study. *Int J Environ Res Public Health*. 25;19(11):6441. 2022 May.
- 2) Saito S, Nakao Y, Hasegawa Y, Nagai K, Sano K, Uchiyama Y, Kishimoto H, Shinmura K, Domen K: Relationship between Rate of Force Development of Tongue Pressure and Physical Performance. *J Clin Med*.22;11(9):2347. 2022 Apr.
- 3) Fukuoka T, Ono T, Hori K, Kariyasu M: Effects of

tongue-strengthening exercise on tongue strength and effortful swallowing pressure in young healthy adults: a pilot study. *J Speech Lang Hear Res*. 11;65(5):1686-1696. 2022 May.

- 4) Hatayama C, Hori K, Izuno H, Fukuda K, Sawada M, Ujihashi T, Yoshimura S, Hori S, Togawa H, Uehara F, Ono T: Features of masticatory behaviors in older adults with oral hypofunction. *J Clin Med*. 6;11(19):5902. 2022 Oct.
- 5) Kusunoki H, Hasegawa Y, Tsuji S, Wada Y, Tamaki K, Nagai K, Mori T, Matsuzawa R, Kishimoto H, Shimizu H, Shinmura K: Relationships between cystatin C and creatinine-based eGFR with low tongue pressure in Japanese rural community-dwelling older adults. *Clin Exp Dent Res*.8(5):1259-1269.2022 Oct.
- 6) Li Q, Hori K, Murakami K, Minagi Y, Maeda Y, Chen Y, Ono T: Non-invasive evaluation of the biomechanical accommodations to bolus volume during human swallowing. *Appl Bionics Biomech*.14;2022:7146947. 2022 Oct.
- 7) Hasegawa Y, Sakuramoto A, Suzuki T, Sakagami J, Shiramizu M, Tachibana Y, Kishimoto H, Ono Y, Ono T: Emotional modulation of cortical activity during gum chewing: a functional near-infrared spectroscopy study. *Front Neurosci* 29;16:964351.2022 Nov.
- 8) Nanto T, Ono T, Hori K, Murakami K, Uchiyama Y, Maeda Y, Domen K: The effects of tongue elevation using a weighted plastic bottle on the tongue pressure and activity of suprahyoid muscles. *J Oral Rehabil*.49(11):1041-1048. 2022 Nov.
- 9) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Shiramizu M, Sta Maria MT, Hori S, Morikawa M, Marito P, Kaneko N, Nohno K, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of interval walking training on oral health status in middle-aged and older adults: a case-control study. *Int J Environ Res Public Health*.4;19(21):14465. 2022 Nov.
- 10) Shiramizu M, Hasegawa Y, Yoneda H, Yoshimoto T, Ouchi A, Yamamoto T, Ono T: Factors affecting masticatory performance during the mixed dentition period. *J Oral Rehabil*.49(12):1144-1154. 2022 Dec.
- 11) Okawa J, Hori K, Yoshimoto T, Ono T: Retronasal aroma dynamics related to the swallowing threshold. *J Oral Rehabil*.50(1):69-75. 2023 Jan.
- 12) Murakami K, Yoshimoto T, Hori K, Sato R, Sta Maria MT, Marito P, Takano H, Khaing AMM, Nokubi T, Ono T. Masticatory Performance Test Using a Gummy Jelly for Older People with Low Masticatory Ability. *J*

Clin Med. 11;12(2):593. 2023 Jan.

- 13) Hori S, Hori K, Yoshimura S, Uehara F, Sato N, Hasegawa Y, Akazawa K, Ono T: Masticatory behavior change with a wearable chewing counter: a randomized controlled trial. J Dent Res. 102(1):21-27. 2023 Jan.
- 14) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Sta Maria MT, Marito P, Salazar S, Hori K, Ono T : Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. J Prosthodont Res. 2023 Feb 4. Online ahead of print.
- 15) Kida M, Kokubo Y, Kosaka T, Ono T, Maeda Y, Watanabe M, Miyamoto Y, Ikebe K: Relationship between carotid intima-media thickness and periodontal disease in a Japanese urban population with and without hypertension: The Suita Study. J Clin Periodontol.50(2):265-275. 2023 Feb.
- 16) 重本心平, 堀 一浩, 大川純平, 小野高裕, 宮島久: 嚥下障害が疑われる総合病院入院患者における適切な食形態選択のための関連因子の検討. 日本咀嚼学会雑誌 32(1):2-11. 2022年5月.
- 17) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介: 日常的なガム咀嚼トレーニングが若年者の咀嚼機能および咀嚼行動に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 32(2):80-88. 2022年11月.

【商業誌】

- 1) 小野高裕. 「よい咀嚼」から始まるヘルスプロモーション. 歯科衛生だより 2022;71:1-3, 2022 Oct.
- 2) 堀 一浩 小野高裕 : 外来診療に役立つ機器・材料・薬剤 口腔内圧の測定 (舌圧測定器). JOHNS .Vol. 39 No. 4.2023 Apr.

【研究費獲得】

- 1) 小野高裕 (代表), 堀 一浩 (分担), 長谷川 陽子 (分担), 村上和裕 (分担) : 咀嚼行動変容による高齢者の高次脳機能の維持・改善. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 20H03877, 2020年4月 - 2023年3月.
- 2) 小野高裕 (分担) : 咀嚼機能の低下が動脈硬化性疾患発症に及ぼす影響についての大規模縦断研究. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C), 22K10054, 2022年4月 - 2025年3月.
- 3) 小野高裕 (分担) : 歯周病ならびに咀嚼機能低下が関節リウマチに及ぼす影響についての大規模縦断研究. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C), 21K09999, 2021年4月 - 2024年3月.
- 4) 堀 一浩 (代表), 小野高裕 (分担), 村上和裕

(分担), 吉村将悟 (分担) : ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 21H03129, 2021年4月 - 2025年3月.

- 5) 堀 一浩 (分担) : 高齢者における低栄養防止の新戦略一義歯指導に併せたテーラーメイド栄養指導法構築一. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 20K10290, 2020年4月 - 2023年3月.
- 6) 堀 一浩 (分担) : 高齢者のオーラルフレイルの進行阻止を目指した簡便なスクリーニング検査法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 22K11411, 2022年4月 - 2027年3月.
- 7) 堀 一浩 (分担) : 歯舌実測運動特性に基づく咀嚼ロボットシミュレーション. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 20H02116, 2020年4月 - 2024年3月.
- 8) 長谷川 陽子 : 機械学習を活用した骨密度の予後予測モデルの構築と検証. 8020 研究財団研究助成 三井住友海上福祉財団 Ugo 研究助成, 22-2-10, 2022年4月~2023年3月. 研究助成.
- 9) 長谷川 陽子 : 口腔機能低下は高齢者の引きこもりを促進させるのか? 三井住友海上福祉財団. 2019-2022年度. 研究助成
- 10) 長谷川 陽子 : 個人の食品嗜好性を脳イメージングにより可視化できるか? 新潟大学令和4年度 U-go グラント 2022年4月~2023年3月. 研究助成.
- 11) 佐藤直子 (代表), 堀 一浩 (分担) : 食事介助者の動作が摂食嚥下先行期・準備期における被介助者の挙動に及ぼす影響. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 21K09974, 2021-2023. 継続
- 12) 大川純平: 深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18593, 2020-2022. 継続
- 13) 大川純平: レトロネーザルアロマは肥満と関連するか? 一口中香による咀嚼様相変調一. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 22K17107, 2022-2023. 新規
- 14) 兒玉匠平: 舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17036, 2021-2022.
- 15) 上原 文子 : 食後血糖値に対する咀嚼回数, 唾液量およびアミラーゼ活性の影響. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17062, 2021-2023.

- 16) 村上瞳 (戸川瞳): ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り. 日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究, 22K17108, 2022.
- 17) 堀 頌子: 咀嚼行動は肥満発症と関連するか?—レトロスペクティブスタディー. 日本学術振興会 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 (基金), 22K21035, 2022-2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩: 咀嚼によるメタボ予防とオーラルフレイル・フレイル予防. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月11日.
- 2) 大川純平: モバイル機器を用いた咀嚼能率および舌苔付着度の画像解析. 日本老年歯科医学会第33回学術大会 シンポジウム, 新潟, 2022年6月11日.
- 3) 長谷川 陽子: 咀嚼研究の最新像 「咀嚼と脳機能たべることが脳にもたらす変化」. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月12日.
- 4) 村上和裕: 臨床で咀嚼能力測定をどう活用するか?. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月12日.
- 5) 小野高裕: 咀嚼を知って・測って・応用する—新しい歯科医療のヒントとして—. 令和4年度第1回香歯ポストグラジュエートセミナー, 高松市, 2022年7月10日.
- 6) 小野高裕: 科学研究費助成事業の計画調書の書き方. 大阪歯科大学FDセミナー, 大阪市, 2022年8月1日.
- 7) 小野高裕: 咀嚼・嚥下障害を有する高齢者の義歯治療のヒント. 兵歯ゼミナール: 在宅 (訪問) 歯科診療における歯科医師・歯科衛生士研修会[スキルアップセミナー], 神戸市, 2022年9月18日.
- 8) 小野高裕: 咀嚼能力検査をどのように臨床に活かすか?. 兵歯ゼミナール: 在宅 (訪問) 歯科診療における歯科医師・歯科衛生士研修会[スキルアップセミナー], 神戸市, 2022年9月18日.
- 9) 堀 一浩: 摂食嚥下リハビリテーションにおける補綴的アプローチ—様々な補綴装置を用いた機能回復—. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2022年9月24日.
- 10) 村上和裕: 極薄型舌圧センサシートで明らかになる機能時舌圧. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張, 2022年9月24日.
- 11) 堀 一浩: 咀嚼嚥下時の舌運動解析. 第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム, 京都, 2022年9月30日.
- 12) 小野高裕: 超高齢社会に求められるデンタルテクノロジー: 咀嚼・嚥下機能回復のために. 全国国立大学病院歯科技工士協議会研修会, 新潟市, 2022

年10月6日.

- 13) 小野高裕: 咀嚼能力と咀嚼行動の生活習慣病との関連性. 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室医局会, on-line, 2022年10月20日.
- 14) 小野高裕: 健康バイオマーカーとしての咀嚼能率の可能性. 日本咀嚼学会学術講演会, 東京, 2022年12月3日.
- 15) 堀 一浩: 「よく噛む」・「よく噛める」と健康との関係. 日本咀嚼学会学術講演会, 東京, 2022年12月3日.
- 16) 小野高裕: 改めて考える 「よく噛む」って何だろう?—歯科から始まるヘルスプロモーションに向けて—. 鳥取県歯科医師会 医療介護連携のための多職種連携等研修「取り組もう、食べる機能の低下予防—高齢者の保健事業と介護予防の一体化専門職支援に向けて—」, 倉吉市, 2023年1月8日.
- 17) 小野高裕: 「よく噛む」ことから始まる健康づくり. 新潟県歯科衛生士会 オーラルフレイル予防に関する研修会, on-line, 2023年1月21日.
- 18) Ono T: How to achieve "Chewing Happiness". Special Final lecture in International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2023, on-line. 2023/2/11.
- 19) 小野高裕: 咀嚼能力と健康. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟市, 2023年3月18日.
- 20) 堀 一浩: 咀嚼行動のモニタリング. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 21) 長谷川陽子: 咀嚼と高次脳機能. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 22) 村上和裕: 咀嚼能力測定法のさらなる深化. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 23) 大川純平: 咀嚼能力とアロマ. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.

【学会発表】

- 1) 畑山 千賀子, 堀 一浩, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 氏橋 貴子, 小野 高裕: 口腔機能が低下した高齢者の咀嚼行動の特徴. 第19回日本口腔ケア学会 (ポスターオンライン), 大阪, 2022年4月23日-5月31日.
- 2) 重本 心平, 宮島 久, 大溝 裕史, 高橋 順子, 星直子, 樋口 拓也, 堀 一浩, 小野 高裕, 島貫 公義: 舌接触補助床を適用することにより口腔機能が改善し経口摂取可能となった症例. JSPEN2022, パシフィコ横浜, 2022年5月31日-6月1日.
- 3) 楠 博, 長谷川 陽子, 辻 翔太郎, 玉城 香代子, 和田 陽介, 森 敬良, 永井 宏達, 志水 秀郎, 岸本 裕充, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連 eGFRcre と eGFRcys との違い. 日本老年

- 医学会第 64 回, 大阪, 2022 年 6 月 4 日.
- 4) 深町直哉, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 三村俊平, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療前後の咀嚼能力の縦断的評価. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, ポスター, 新潟市, 2022 年 6 月 9-10 日.
 - 5) 大川純平, 堀一浩, 泉野裕美, 福田昌代, 畑山千賀子, 小野高裕: 深層学習による画像認識技術を用いた舌苔付着度の評価. 日本老年歯科医学会 第 33 回学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 10~12 日.
 - 6) 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀 一浩, 小野高裕: 健常高齢者の水嚙下時舌運動. 老年歯科医学会 第 33 回学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 11 日.
 - 7) 重本 心平, 堀 一浩, 大溝 裕史, 大川 純平, 小野 高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者の栄養状態, 術後 ADL, 口腔・嚙下機能と術後肺炎の関連因子. 日本老年歯科医学会総会第 33 回学術大会. 新潟, 2022 年 6 月 12 日.
 - 8) 楠 博, 長谷川 陽子, 辻 翔太郎, 玉城 香代子, 和田 陽介, 森 敬良, 永井 宏達, 志水 秀郎, 岸本 裕充, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連 クレアチニンとシスタチン C との違い. 日本抗加齢医学会総会 22 回, 大阪, 2022 年 6 月 17 日.
 - 9) 佐藤理加子, 堀 一浩, 兒玉匠平, 大川純平, 小野高裕: モーションキャプチャシステムを用いた咀嚼時の舌運動と顎運動の同時解析. 第 61 回日本生体医工学会, 新潟, 2022 年 6 月 30 日.
 - 10) 宮崎 透奈, 竹原 遼, 鈴木 達也, 嶋田 総太郎, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕, 小野 弓絵: 意図的に嚙むことの習慣化による、咀嚼に関連する前頭前野の活動の促進 (Making a habit of intentional chewing enhances chewing-related prefrontal activity). 第 45 回日本神経科学大会, 沖縄, 2022 年 6 月 30 日.
 - 11) 善本 佑, 長谷川 陽子, Ma Therese Santamaria, 堀一浩, 小野 高裕: 下顎両側遊離端義歯の設計が咀嚼能率に与える影響. 新潟歯学会, 新潟, 2022 年 7 月 9 日.
 - 12) Sta. Maria, Ma. Therese, 長谷川陽子, Marito, Pinta, 善本佑, Salazar, Simonne, 堀 一浩, 小野高裕: The Impact of Residual Ridge Morphology on the Masticatory Performance of Complete Denture Wearers (総義歯装着者の欠損部顎堤形態が咀嚼能力に及ぼす影響) 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 13) 狩野剛志, 権田知也, 戸川瞳, 濱田匠, 豊田理紗, 小野高裕, 池邊一典: 臼歯部遊離端欠損の支台歯に加わる咬合力に及ぼす義歯装着の影響. (ポスター発表) 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 14) 善本 佑, 長谷川 陽子, Salazar Simonne, Pinta Marito, Therese Sta Maria Ma, 堀 一浩, 小野 高裕: 下顎両側遊離端義歯の設計が咀嚼能率に与える影響. 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 15) 宮崎 透奈, 竹原 遼, 嶋田 総太郎, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 山村 健介, 小野 高裕, 小野 弓絵: Evaluation of systemic artifact removal methods for functional near-infrared spectroscopy signals. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン), 2022 年 9 月 9,10 日.
 - 16) 山本 孝文, 山本 修平, 福本 充治, 井上 浩幸, 龍田 孝夫, 中町 守人, 松本 明彦, 稗田 知子, 福居 好佳, 角田 愛, 石原 洋子, 白水 雅子, 長谷川 陽子, 野首 孝詞, 小野 高裕: 「いい歯の日」に開設した「高齢者歯科健診コーナー」の報告(第 2 報) 2012~19 年の参加者の結果について. 第 36 回兵庫県歯科医学大会, 神戸, 2020 年 9 月 13 日.
 - 17) 小山 恭平, 稲本 陽子, 栗飯原 けい子, 伊藤 友倫子, 小野木 啓子, 堀 一浩, 小野 高裕, 大高洋平, 才藤 栄一: 嚙下 CT と舌圧センサによる K-method の運動学的検討. 第 28 回日本摂食・嚙下リハビリテーション学会学術大会. 2022 年 9 月 24 日.
 - 18) 重本 心平, 堀 一浩, 高橋 順子, 大川 純平, 大溝 裕史, 小野 高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者における口腔機能と栄養状態との関連. 日本摂食・嚙下リハビリテーション学会, 千葉, 2022 年 9 月 24 日.
 - 19) 上原文子, 堀 一浩, 吉村将吾, 堀 頌子, 戸川瞳, 長谷川陽子, 小野高裕: 習慣的咀嚼行動と食品摂取状況との関係. 日本咀嚼学会第 33 回学術大会, 徳島, 2022 年 10 月 1,2 日.
 - 20) 三村 俊平, 栗原 加奈子, 深町 直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川 純平, 竹山 雅規, 小野 高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 日本矯正歯科学会 81 回, 大阪, 2022 年 10 月 6 日.

- 21) 石丸智也, 山口泰彦, 齋藤大嗣, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 安部倉仁, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時の咬筋筋電図波形積分値の実態解明. 補綴学会東北・北海道支部学術大会 (オンライン), 2022年10月16日.
- 22) 三村 俊平, 栗原 加奈子, 深町 直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川 純平, 竹山 雅規, 小野 高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日.
- 23) 高野日南子, 村上和裕, Aye Mya Mya Khaing, 堀 一浩, 小野高裕: 咀嚼能率測定用グミゼリーの咬断片個別解析の試み. 日本補綴歯科学会関越支部令和4年度学術大会 (Web), 2022年11月13日.
- 24) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を図った症例. 日本補綴歯科学会関越支部 令和3年度学術大会 (オンライン), 2022年11月13日.
- 25) 水野海渡, 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀 一浩, 東森充: アレイ状配置チャンバを有する舌型空圧ソフトアクチュエータの設計. 第23回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 千葉, 2022年12月15日.
- 26) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀 一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第68回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022年12月17日.
- 27) 李 宙垣, 渡辺 崇文, 松岸 諒, 喜田 悠太, 板離子, 兒玉 匠平, 大川 純平, 堀 一浩, 津賀一弘, 小野 高裕: 液体の物性および量による嚥下時舌圧の変化とAIによる解析. 第68回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022年12月18日.

【受賞】

- 1) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第68回日本顎口腔機能学会優秀口演賞 2022年12月18日.
- 2) 小野高裕: 令和3年度日本補綴歯科学会 学術賞, 2022年7月15日.
- 3) 堀 一浩: 令和3年度 咀嚼学会第33回学術大会 優秀学会賞, 2022年10月2日.

【その他】

- 1) 小野高裕: 特集「一生続けることだから. 楽しく

- 食べるための、咀嚼と嚥下」(咀嚼編). 太陽笑顔 fufufu, 51:5-13, ロート製薬, 2022年12月1日.
- 2) 前田健康, 小野高裕: Special Interview 「教育 x デジタルデンティストリー」. Ha・ha・ha, 96:12-14, 松風歯科クラブ, 2023年1月.
- 3) 小野高裕: 舌接触補助床 PAP 入門編 咀嚼・嚥下・構音障害をもつ患者さんのために. Doctorbook オンラインセミナー, 2023年1月17日.

組織再建口腔外科学分野

【書籍】

- 1) 小林正治: 顎変形症治療の基礎知識 (富永和弘 他, 日本顎変形症学会編), 8-9, 11-12, 70-73 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2022.

【論文】

- 1) Nakamura A, Hasebe D, Kato Y, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T: Intravenous administration of lidocaine and magnesium for severe pain caused by primary chronic osteomyelitis of the mandible: A case report. Oral and Maxillofacial Surgery Cases, 8(2), June 2022, 100251, Available online 23 March 2022, DOI: 10.1016/j.tranon.2021.101236.
- 2) Mikami T, Kobayashi T, Hasebe D, Ohshima Y, Takahashi T, Shimohata T: Oral appliance therapy for obstructive sleep apnea in multiple system atrophy with floppy epiglottis: a case series of three patients. Sleep and Breathing, Available online 29 March 2022, doi.org/10.1007/s11325-022-02607-0.
- 3) Inaba Y, Hasebe D, Hashizume K, Suda D, Saito N, Saito D, Sakuma H, Funayama A, Kobayashi T: Changes in nutritional status of patients with jaw deformities due to orthognathic surgery. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, Accepted date: 11 July 2022, DOI: 10.1016/j.o000.2022.07.007.
- 4) Chan NN, Yamazaki M, Sakuma H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: A case report and literature review. Oral Sci Int, Available online 19 July 2022, DOI: 10.1002/osi2.1155.
- 5) Kasahara M, Sakuma H, Hasebe D, Saito D, Kato Y, Osawa K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report. J Oral Maxillofac Surg Med